

区会紹介

各区会「多彩な交流活動」の拡大特集は、今回は須磨区、垂水区、西区の3区会です。

以下、区会代表の皆さんからのコメントです。

(広報・道満出人)

須磨区会

地域貢献×つながり

区会長 細野恵久(福3期)

<区会の現状>

1. 会員数

213名(男性 113名、女性 100名)

令和2年度の会員数は前年より大幅に減少しました。KSC在学学生・入学生の減少傾向に加え、コロナウイルス禍による長期の活動休止が、会員数にも及んだのです。人材の確保と活用がますます重要となることは間違いありません。

<活動方針>

《地域貢献》と《つながり》の両立に努めています。前者はニーズ(発揮先)、後者はシーズ(原動力)となつて相乗効果を生むと信じるからです。

<活動内容>

下表に主な活動を示します。《地域貢献》は定例的な活動に留まらず、スポット的な案件にもできるだけ応じるように努めています。

1. ボランティア活動(地域貢献活動)

目的・内容	場所	頻度
海岸清掃	須磨海水浴場	シーズン中毎月曜
障がい中学生見守り	青陽須磨支援学校 トライやるウィーク	9月最終週 延べ20人
発達障がい児童学習支援	西須磨小学校	月3~4回
放課後補習	菅の台小学校	月3~4回
お年寄の浴後ケア	神港園サニーライフ	毎週火曜・金曜
外出行事付添	名谷すみれ苑	初詣、花見、秋
お買い物サポート	須磨パティオ	毎週木曜
区ボラセンの要請	要請に応じて	随時

2. 会員の交流イベント(つながり活動)

目的・内容	対象者	時期・頻度
オリエンテーション	入会者・希望者	6月
区会だより発行	全会員	4月, 7月, 10月, 1月
わ運営委の報告	メール配信希望者	毎月
わHP更新の通知	メール配信希望者	隔週
ウォークラリー大会	参加希望者	10月第4日曜日

<活動の実状>

年間の活動回数はおよそ550人・日で、近年低迷が続いています。そのうち400人・日を《地域貢献》が占めますが一方の《つながり》は僅か150人・日程度と、バランスがとれていません。

《つながり》の不足は活動参加者の広がり不足に通じます。事実、区会活動に関わる会員は70名前後(所属会員の27%前後)に留まっています。

部会活動に当会員の約85%が関わっている事実から考えても《つながり》を充実すれば区会活動への参加率は必ず向上するはずです。

<課題と解決策>

1. 運営の組織化

ここ10年明確な組織体制を持たず、区会長がすべての司令塔となつて、案件ごとに臨時のスタッフを置くやり方をしてきました。しかし区会の規模が拡大し、活動の幅も広がった今、このやり方では間に合いません。令和2年度では新たに運営委員会を編成して企画力を強化し、さらに連絡網を整備して即応力を高めます。

2. 区会意識の啓蒙

区会活動の資金は本部の活動助成金に100%依存しています。しかし、実質は会員一人ひとりが所属の区会に供託したお金なのです。会員はこのことを念頭に、区会活動に関心を持ち、参加し、あるいは物申してほしいと思います。

3. 地域貢献の拡大

活動拡大の余地はとりわけ小学校の学習支援にあります。個人的ボランティアに留まらず、校区毎にグループを組んで当たるようにしたいと考えます。



4. つながりの多様化

公式・非公式に、また定例的・臨時企画の両面で《つながり》を図ります。KSC在校生の地域交流グループとの交流は親睦にとどまらず人材確保のためにも重要であり、怠らずに努めます。現会員には従来の定例的イベントに加え新規の企画を提供し参加を促します。非公式の《つながり》としては北区会にならい同好者の自由な集いを促します。また現在中断している月例健康ウォーキングの再開も考えています。

